

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	自己実現型こども育ち塾つきのうさぎ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/31		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に少なくとも一回30分以上の時間を取り、じっくり保護者様と話しをする時間を設けるようにしている</li> <li>利用者様のニーズに寄り添って対話を行っている</li> <li>直接じっくりと相談支援を行うことで、支援の方向性のズレを早期に修正し、支援に生かしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの相談支援を取り入れ、保護者間で悩みや疑問、不安を共有共感することができるようにしていく</li> </ul>
2	専門性の高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ全員が国家資格保有者となっている</li> <li>スタッフの職種は様々で幅が広いいため、強みにも課題点に対してでも視点が豊富になっている</li> <li>アプローチも明確に行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフの募集と増員は引き続き続けていく</li> <li>スタッフ研修への参加の促進を行う</li> </ul>
3	療育の内容充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を使う遊具が充実している</li> <li>配置基準よりも多くのスタッフを配置している</li> <li>スタッフの職種は様々で幅が広いいため、強みにも課題点に対してでも視点が豊富になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具、器具の購入を行っていく</li> <li>スタッフのスキル向上を図っていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の内容(療育内容)がうまく伝わっていないことがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語の使い分けがうまくいっていない時がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語を使う時には意味まで伝えて、解釈が合っているかの確認を行うようにする</li> </ul>
2	事業所の非常時取り組みの周知徹底がなされていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知徹底の不足が起きている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に避難について丁寧に伝える</li> <li>時間が経てば薄まる情報であるため、SNSや掲示を行うなど確認を行っていく</li> </ul>
3	地域との連携が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設側の人的、時間内環境リソースの確保が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設側の環境リソースを強化するよう努力する</li> <li>地域への働きかけがうまくいくような地盤を作っていく</li> </ul>